

第3回 岩内町立小中学校運営協議会推進委員会議事録

と き 令和2年1月28日(火) 18:30～

ところ 岩内町立岩内第一中学校 会議室

記録者 岩内町立岩内第一中学校 工 藤

司会：本間委員長

1. 開 会

(本間委員長)

みなさん、改めましてお晩でございます。定刻になりましたので始めさせていただきます。

ただいまより、「令和元年度第3回岩内町立小中学校運営協議会推進委員会」を開催します。

みなさん夜分遅くにご出席いただきましてありがとうございます。当初この第3回推進委員会は12月10日に開催される予定であったのですが、私の体調不良もあって、他の委員さんの方の出席率も芳しくなかったということもあったようで、急ぎよ今日に延期になったということでまずはお詫びを申し上げたいと思います。今日の議事になりますが、次第にありますとおり、2点ほどになります。それぞれ協議の方よろしくお願ひしたいと思います。まず1点目が、「第2回学校運営協議会の結果交流」ということで前回の推進委員会では第1回目の運営協議会の結果交流・情報共有ということで、西側・東側からそれぞれ結果を受けたということになりますが、10月に第2回目の学校運営協議会が開催されたということでその結果交流・情報共有を図りたいということで、また今回もそれぞれの協議内容を説明いただきたいと思います。早速ですけども、第2回の学校運営協議会の結果について事務局からお願いします。

(事務局)

それでは事務局の方からご説明をさせていただきます。議事の1番目「第2回学校運営協議会の結果交流」ということですが、こちらについては、前回と同じように各地区の担当の方から説明をいただきまして、その後は実際に参加された方からどういった取組だったのかなど、ご意見・ご感想をいただきたいと思います。第2回学校運営協議会ですが、西地区が10月17日木曜日に西小学校で、東地区は10月31日木曜日に東小学校にて開催されております。それではまず、西地区からご説明をお願いします。

1. 第2回学校運営協議会の結果交流

(西小学校 市橋校長)

ではまず、西校の方からご説明させていただきます。はじめに、前期の学校教育活動について簡単に概要をお話させていただきました。5月はブロックで遠足を実施し、上の学年が下の学年の面倒を見ながら楽しみました。6月には運動会。事前の草刈り、当日朝の準備、PTA種目の企画運営、後片付け等を保護者の皆様のご協力をいただきながら無事終わることが出来ました。7月には中学校登校日、さらには、職員の合同研修を実施しました。夏休み明けでは各学年の社会見学、5年生の宿泊研修、6年生の修学旅行があり、無事に終わることが出来たという報告をさせていただきました。

前期の学校評価に関してですが、職員、保護者、児童を対象にアンケート形式で実施しました。課題が浮かび上がってきたのでそれに対して学校としては「情報発信力の強化」、「言葉遣いや礼儀の指導」、「読書活動の充実」、「体力づくりの充実」等々の取組を進めています。というお話をしました。

話題として、「職員間のいじめ」が問題になっていましたので本校では「ありません。」というお話をしました。それから、「スマホの持ち込み」に関しての話題についてお話をしました。最後に、地域ボランティアがというお話をしました。地域ボランティアについては、会議後に二中の藪校長先生をはじめ数人の職員の方がスキー授業のお手伝いに来てくださっています。また井筒さんをはじめとして読み聞かせのボランティアも始まっています。ありがとうございます。以上です。

(岩内第二中学校 中西教頭)

資料でいうと2枚目となります。同じく4月から9月までの取組ということでそこに記載されているとおりですが、4月、入学式・対面式、5月に宿泊研修・修学旅行・見学旅行と、各学年で旅行的行事を行いました。6月・7月は、運動部の中体連行われ、その様子が載っています。それ以外では、文化系の一番大きな吹奏楽の演奏会などが行われました。3枚目は文化祭についてです。開会式から閉会式までの取組の様子を載せています。二中だよりに載せてありますが、学校評価についてです。各学年によって異なるものが結構あります。特に1年生・2年生・3年生にばらつきが。例えば、「1. 学校(学級)が楽しい。」というところで、3年生は非常に高いが、2年生はそれに比べて低くなっているなど、改善すべき問題点を洗い出し、学校全体で取り組まなければならないというところもありますし、学年に絞らなければならないというところもあります。というところで、生徒アンケートを見比べながら下のところに解決策の内容について記載してあります。今、後期のアンケートも実施しておりますのでまた同じように解決策を見つけて4月からではなく気づいたところは現段階から解決していきたいと思います。中学校についてですが、昔のイメージが強いということで、1日何回か警報機が鳴る、授業中廊下で寝転がっている等のイメージのままの方が強いということでした。やっぱりホームページや学校だよりを通して地域の方に現状の二中を知ってもらおう。その中で、ボランティアをお願いしたりできたらいいなど。今の段階だと怖くて行けないと言う方ももしかしたらいらっしゃるのではないかと思いますので、そういうことないようにしていきたいと考えています。学校公開日ということで、今年は十数名の地域の方が学校の方に見られて、授業を見て3年生の生徒と一緒に給食を食べました。本当に元気に挨拶をしてくれる子もいて、楽しかった、良かったとの感想をいただきましたので、これからも続けていきたいなと思います。以上です。

(事務局)

続きまして、東地区お願いします。

(岩内東小学校 鎌田主幹教諭)

東小学校の方からお話させていただきます。お手元の資料を見ながらお話を聞いていただければなと思います。東小学校よりご報告させていただきます。まずは、「前期の学校評価」に関わる集計結果と考察についてお話いたしました。全体的な数値を見ていくと概ね高い評価を頂きました。ですがその一方、回収率が76%と、決して高くはなかったことや、「項目によっては、まだまだ改善の余地があります」といったこととお話いたしました。そんな中で、会の最後に委員さんから頂いたご意見が大変参考になりました。それは、アンケートには「ある程度の妥当性」はあると同時に、「数字だけでは図れない部分もありますよね」というご指摘です。数値はあくまでも一つの指標として活用しながらも、やはり子どもた

ちや保護者の皆さんとの直接的な対話の中からくみ取るべきことも多いのだということに、改めて気づかせていただきました。

続いて「前期の活動報告」を行い、「学力の向上に関わる、少人数習熟度別学習」や「体力向上に関わる、新体力テストの実施」、「全校児童の絆を深めることを目指した全校集会の実施」等について報告させていただきました。委員の皆様方には、これらの取組について一定の評価をいただいたところですが、意見交流の際には「挨拶の在り方」について話題になりました。学校では「挨拶運動」やあいさつができたらしールを一枚貼りましょうとかいう取組はしています。しかし、そもそも、人と人が挨拶を交わすことの意義は何かということについても話は及びまして、やはり、あいさつの一番大きな意義は「人と人をつなぐ」ということだよねということになりました。例えば先ほどの「挨拶運動」についても、子どもたちにとって初めは「形だけ」のものかもしれませんが、こうした取組をきっかけに挨拶を身に付け、やがてはあいさつの大切さを実感していけるように導いていくのが、大人の役割なのだとということを再確認いたしました。

以上のように、学校内だけでは気づくことができないことも、様々な立場の委員さん方の、様々な視点で見ていただくことで、気づくことができたり、学校と地域とが、子どもたちの成長を願って思いを同じくする機会になったりするという意味でも、学校運営協議会の大きな意義を感じた次第です。以上です。

(岩内第一中学校 工藤事務職員)

続きまして、岩内第一中学校より報告させていただきます。始めに、「前期学校評価」について夏休み前に行った保護者アンケートの結果と見解についてお話ししました。本校のアンケート回収率は94.3%と高い回収率をいただき、アンケートの結果からは、「学校は保護者や地域の意見を聞き、その期待に応えていますか」という数値が昨年度比で0.3ポイントの向上が見られました。それは、今年の学校評価の中から「学習用具の持ち帰りと、子供たちのカバン重量軽減における問題」をご指摘頂き、それをもとに今年度から「すべての学習用具を学校において行っても良い」というルールに改め、さらに家庭学習の定着を図るため、「自分で家庭学習の用具を考えて、少なくとも1教科の学習用具を持ち帰る」というルールに変更をしたことがこの評価につながりました。その他にも、教職員一人一人が子供たちの普段の何気ない様子をしっかりと観察し、些細なことでも教職員間で情報共有を行って、子供たちが安心して学校生活を送れるよう学校改善を図っていくということをお話いたしました。

「前期活動報告」では、本校が前期行った「栄養教諭を招いての食育に関する授業」、今年度から導入した「PTA学級サポーター」や「夏休み学習会」などの取組について報告しました。なかでも、夏休みに行った中学生が東小学校の「学習会」に参加し、実際に小学生に勉強を教えるという取組について「斬新だ」や「小学生に勉強を教えることで教えるという大変さが分かる」など各委員さんから高い評価をいただくことができました。全体を通して、保護者や委員の皆様から多くの感想やご意見をいただくことが出来ました。良い評価をいただいた部分に関してはこれからも継続して行っていき、逆に課題が見られたところに関しては教職員や保護者、地域の方々と協力して改善を図っていきます。以上で第一中学校から報告を終わります。

(事務局)

各地区担当の方、ありがとうございました。それでは今のご説明いただいたことを踏まえまして、CSについてご意見ご感想をいただきたいと思います。委員長よろしいでしょうか。

(本間委員長)

はい、お願いします。

(事務局)

それでは実際に CS に出席された井筒さんをお願いします。

(井筒委員)

いろいろな意見が出ていて、実のある運営協議会だったと思います。

(事務局)

ありがとうございます。福嶋さんをお願いします。

(福嶋委員)

西地区はあっさり終わってしまって、問題がないのか、それともちょっと急ぎがちだったのかもしれませんが、意見などを聞くことができて良かったです。

(事務局)

ありがとうございました。それでは校長先生からもお話を伺いたいと思うのですが、藪校長先生いかがでしたか。

(岩内第二中学校 藪校長先生)

今年度スタートして1年目ということで、それぞれ学校の経営方針の承認や活動をそれぞれの委員さんに見ていただいて、感想を聞かせていただくなど、スタートを切ったのは良かったです。これから次年度に向け、よりこのコミュニティスクールが充実をしていくことが求められると思います。文科省からも開かれた教育課程ということで、学校が地域・保護者の方にやっている中身・内容をどんどん発信して理解していただきながら、様々な協力をいただき、学校活動を進めていくという、そんなところには合致しているのではないかと思うし、そういう方向性で進めていけたらいいかなと思っているところです。本当に委員の皆さんの方から忌憚のないご意見をいただくことができ、学校を経営するのに助かっていますし、参考にさせていただければいいなと思っておりますので、今後とも引き続きお願いしたいなと思います。

(岩内西小学校 市橋校長)

非常にありがたかったのは、CSにより、地域ボランティアの方からすぐにリアクションがあり、それが子どもたちのために繋がったというのが大変良かったのかなと思います。1点だけ、オブザーバーでいいので学校支援地域本部の方が運営協議会に同席していただければいいなと思いました。

(岩内第一中学校 加藤校長)

先ほど工藤の方から話がありましたが、学校の成果で言うと課題の部分として、本校ではいじめを1件認知しています。そのことを報告しました。解決はしていないが、今後終息に向かっている方向で進んでいることの状況について、もう少しそういうことをきちんと地域に広げ、もっともっと大きな問題になった時にどのような体制で解決に導くのかという質問がありました。ですから、良いことばかりという言葉が適切ではないかもしれないが、成果だけではなく課題になる部分も学校はどんどん発信していかなければならないし、まだまだ委員の皆様を含め、地域の方に学校というところを深く理解されている部分とされていない部分があると思います。ですから、そういうところを学校としては様々な形で発信していかなければならないなと感じました。

(岩内東小学校 齊藤校長)

これからの学校づくりのイメージを共有できるような場だと感じました。というのは、出される意見がまちづくりとか人づくり、小学校・中学校を通して、高校・大学を通ってくる中での人づくり、将来の岩内町を担う子どもたちという見方から始まり、その子たちをどういう風に育てていって、将来のまちづくりに位置づけていくかなどの視点でのご意見をたくさん伺えて、学校も地域にどんどん開いて、学校の中にも地域の人が入ってきて、先ほどの挨拶の件を鎌田先生がお話されていましたが、そういうような町全体であいさつを交わせるような町になっていければよいというような全体の意見だったのかなとらえているので、将来の学校、今岩内では義務教育学校を目指して走っているところですが、そうなればなるほどなおさら学校にも地域の人が入り、子どもたちも地域に出ていく、そのような地域と学校に段差がないような中で子供たちが健やかに育っていくと、そういうようなことを目指していけたらいいなと思います。そこに向かっていくために必要なご意見をいただいているなと感じました。

(本間委員長)

私は都合により西地区だけ出席させていただきました。学校側から現況など様々な報告があった中で各委員さんからも忌憚のない意見と言いますが、先ほど中西教頭先生からお話がありましたが、「昔の中学生はこんなだったけれども今は大丈夫なのか。」などなかなか面と向かって聞けないようなことですか、親御さんの立場からは自分は子供とこういう風に接していて、「他の子どもに対しても同じような接し方をしているが、今の子どもたちは考え方が甘い。すぐに楽な方向に逃げてしまう傾向があるので親との関わり方等を考えていかなければならないのではないか」など、本当に忌憚のない意見という形で堅苦しいような雰囲気ではなく、自分の意見を出しやすいような会だったのかなと思います。これからは忌憚のない意見を出せる雰囲気作りも大事だと思いますし、今スタートしたばかりで学校側の様子や現状を委員さんや地域の方に知ってもらうことがまず大事だと思いますし、良いところだけではなく、先ほど加藤校長も言いましたが、課題という部分も地域の方に投げかけてその部分の手伝いをさせていただくというのもこのコミュニティスクールの大きな役割・目的なのかなと思います。学校と地域が気軽に交流できるような形に将来的にと言いますか、今からスタートしていければいいなと思います。

(事務局)

ありがとうございました。引き続き今後のCSの部分に役立てていきたいということと、後でまたご説明しますが、2月になりましたら各地区のCSが開催される予定ですので意欲的な参加をお願いしたいところです。事務局からは以上です。

(本間委員長)

それぞれの学校の第2回運営協議会の結果報告ということで参加された方々からご意見頂戴したのですが、その他にご質問ご意見等ありましたらお願いします。なければ次の議題に移ります。2つめの議題は、当推進委員会及び学校運営協議会の今後についてになります。事務局より説明願います。

2. 当推進委員会及び学校運営協議会の今後について

(事務局)

コミュニティスクールの今後についての資料をご覧ください。令和元年度に東・西地区それぞれ学校運営協議会が設立されました。令和元年度は、学校の評価や経営方針の承認、企画の立案など、いわゆる脳としての役割を担っていただいております。令和2年度以降は機能拡充ということで、学校運営協議

会で共有した課題や企画の取組について、力を貸していただける地域団体との連携とその接続を教育委員会でやっていきたいと考えております。部活動のコーチや行事のお手伝いなど、すでに取り組んでいる部分もありますが、そういう部分をコミュニティスクールの形として組み込んでいき、学校運営協議会と地域団体を結ぶコーディネーターについては、学校と地域をつなぐ調整役ということで、地域団体や、個人の方でも、学校に協力していただける人材を把握し、人材を紹介する役割を担っていただきます。これらによって、より学校と地域の連携の取組が進んでいくのかなと思います。以上になります。

(本間委員長)

ただいま、今後の運営協議会についてお話がありましたが、今後の当推進委員会については・・・。

(事務局)

当推進委員会につきましては、学校運営協議会が軌道に乗るまでの見守りをする立場として現在機能しているところです。すでに第2回まで協議会が開催されており、今のところ順調に進んでいるということから、当初の予定とおり今年度をもって会としての役割を終了させていただきたいと考えております。

(本間委員長)

ありがとうございました。前段でコミュニティスクールの今後についてのご説明がありました。その部分について皆様の方から何かありますでしょうか。

(井筒委員)

推進委員会の会議は今回で終了ですか。

(事務局)

推進委員会は全4回予定しております。今回3回目 directional お話をし、最終的に3月に予定している第4回を終えてから解散する予定です。

(井筒委員)

私たち、地域住民代表は見守り隊みたいな感じでそのまま残るのですか。

(本間委員長)

昨年7月に学校運営協議会が設立し、1年間見守り隊ということで今までやってきたのですが、今のところ運営協議会も順調に進んでいるということで推進委員会の役割としては3月いっぱい解散という形に今の段階ではなっております。他に何かありますか。

(岩内第一中 加藤校長)

この推進委員会の今後の在り方について、ある程度目的が達成できたので今年度をもって会を終了するお話がありましたが、この会が終了することによって、学校との関わりが役職として切れる方がいらっしゃいます。例えば、井筒さんや小澤さん、福嶋さんについては教育委員で、福嶋さんについては運営協議会の委員長でいらっしゃいますから、これからも継続して学校との関わりがありますが、何人かの方々はそういう機会というか立場ではなくなってしまう。少なくともこの1年間しっかりとコミュニティスクールが立ち上がり、きちんと運営できているかどうかという見守りを1年間されたので、推進委員会が解散します。役職も欠きます。それは、表面的な形であって、やはり、地域の方は学校に常に目を向け、関心を持って子どもたちを見ていただきたい。そういうことを今回関わっていただいた委員の方々とはたとえこの会が解散して委員として役職から離れたとしても、常にそういう意識を持っていただきたい。例えば、学校に関心を持たない地域の方々にこそ地域と色々なふれあいの場や色々な場で発

信していただきたい。そういう意味では学校運営協議会について「私達、この会に出たいです」と申しれば、傍聴できるという規約になっております。ただ、いつどこでコミュニティスクールが開かれているのかわかりませんので、少なくともこういうことがやっていますというくらいの通知を事務局からここにいるメンバーにお知らせしてほしいと思います。今後も継続して案内を差しあげるなどのちょっとした気遣いをやっていただけると、ここにいらっしゃった方で役を退かれた後でもコミュニティスクールに興味や関心を持って参加していただけると思います。

(本間委員長)

ありがとうございます。この会が解散としても地域住民であることに変わりはありませんし、僕の耳にも間接的に推進委員さんで解散してしまったら関わることができなくなってしまう、残念というような意見を持っている方も何名かいると聞いておりますので、積極的に協議会に参加しても良いということであれば、事務局の方からメンバーにさせていただき、今後も交流ができるという形で進めていきたいということです。お願いします。他に何かご意見ございますか。

それでは、3つめのその他になります。事務局からお話があります。

3. その他

(事務局)

第3回の学校運営協議会の日程についてです。東地区が2月27日木曜日、西地区が2月20日木曜日に開催すると伺っております。それぞれ中学校の開催となりますが、協議会担当から、事務局にお知らせがありましたら、改めてご連絡したいと思います。次の推進委員会につきましては3月を予定しております。

(本間委員長)

ただいまのとおり、第3回目の学校運営協議会が2月20日と27日に予定されているということですので、ご都合のつく方は実際にご覧になってご意見いただけたらと思います。次回の推進委員会は3月に予定しているということですので、改めてご連絡致しますので、ご都合をつけて出席いただければと思います。全体を通して皆様から何かありますでしょうか。なければこれで本日の第3回推進委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。